

## 調査の概要

### 1 調査の目的

我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。

### 2 調査の対象及び客体

「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としているが、本概況では平成15年に日本において発生した日本人の事象を客体とした。

### 3 調査の期間

平成15年1月1日～平成15年12月31日

### 4 調査の方法

市町村長は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の届書に基づいて人口動態調査票を作成する。

### 5 報告の系統

厚生労働省 都道府県 保健所 市町村

### 6 結果の集計

集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

## 利用上の注意

### 1 表章記号の規約

計数のない場合	-
統計項目のありえない場合	.
計数不明又は計数を表章することが不適切な場合	...
表章単位の2分の1未満の場合	0, 0.0, 0.00
減少数(率)の場合	

### 2 用語の説明

自然増加：出生数から死亡数を減じたもの

乳児死亡：生後1年未満の死亡

新生児死亡：生後4週未満の死亡

早期新生児死亡：生後1週未満の死亡

死産：妊娠満12週以後の死児の出産

周産期死亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの

合計特殊出生率：15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。

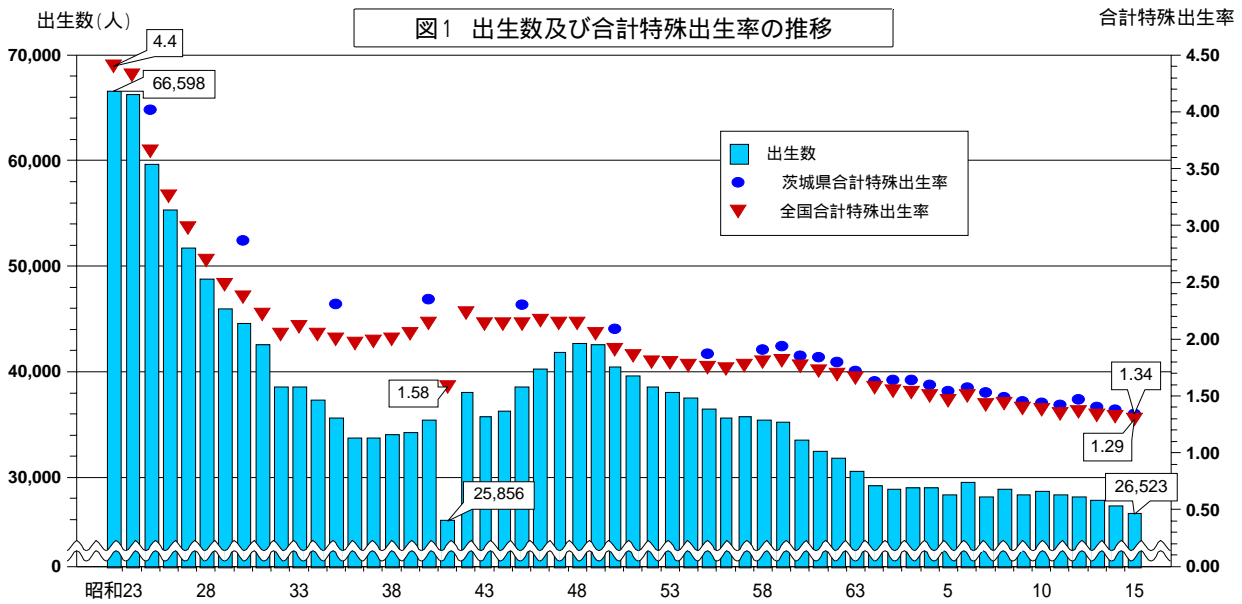
### 3 県及び市町村の分類は、出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

# 結果の概要

## 1 出生数は減少

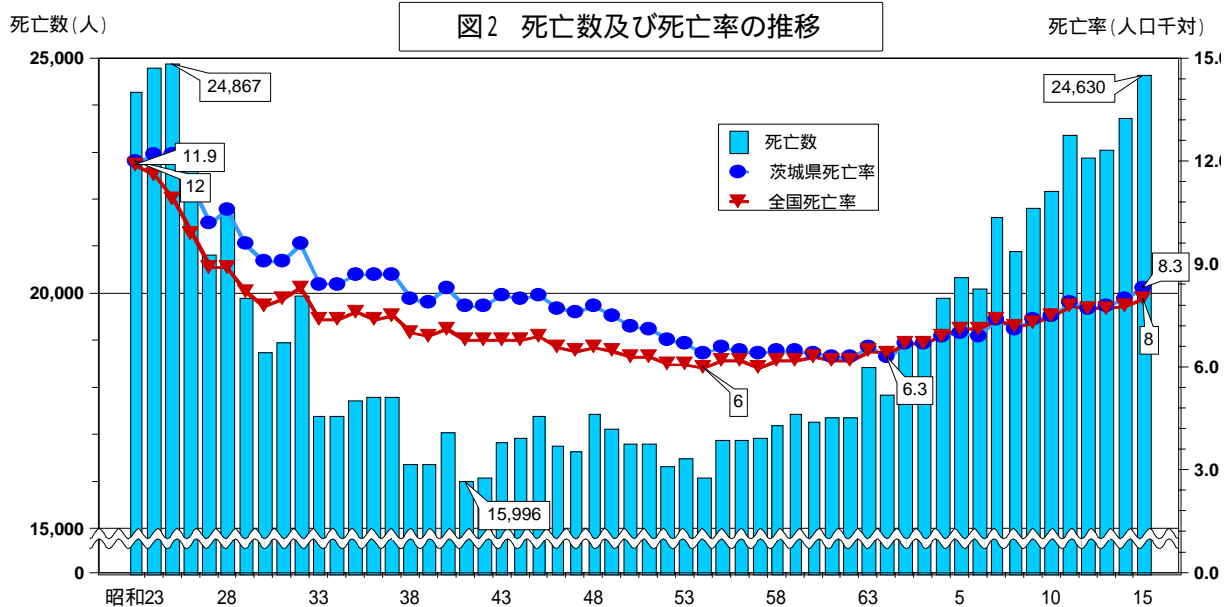
出生数は26,523人で前年より814人減少し、出生率（人口千対）は9.0で、前年を0.3ポイント下回った。合計特殊出生率は1.34で、前年を0.04ポイント下回り、過去最低となった。

出生率では神栖町・東海村が高く、七会村・水府村・金砂郷町が低い。



## 2 死亡数は増加

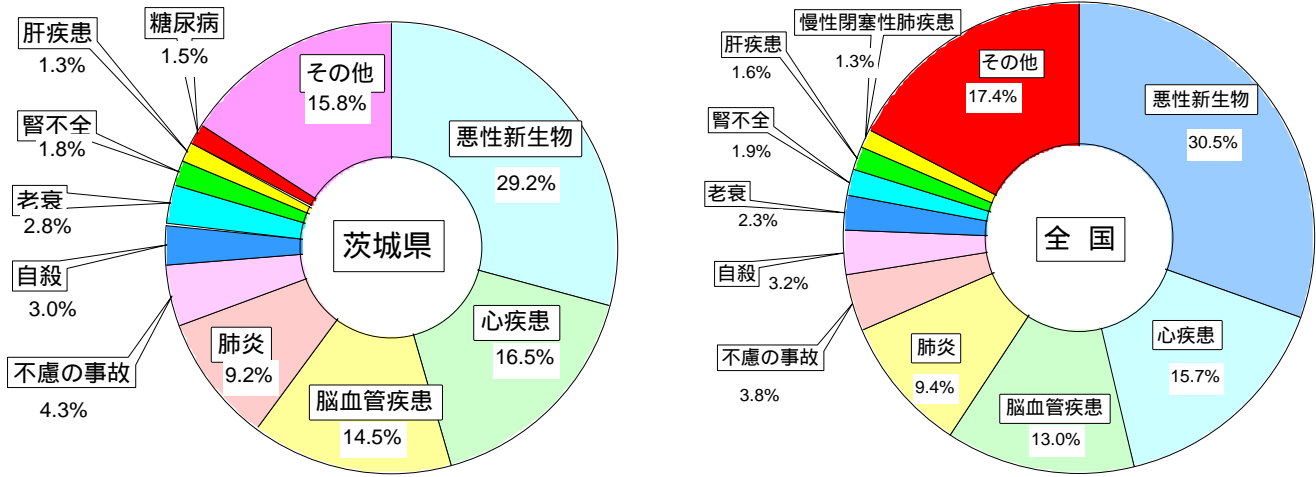
死亡数は24,630人で、前年に比べ908人増加し、死亡率（人口千対）は8.3で、前年を0.3ポイント上回った。死亡率では緒川村・水府村・大子町が高く、牛久市・守谷市・東海村が低い。



死因別では、第1位悪性新生物(7,194人、人口10万対243.6)、第2位心疾患(4,054人、人口10万対137.3)、第3位脳血管疾患(3,577人、人口10万対121.1)である。

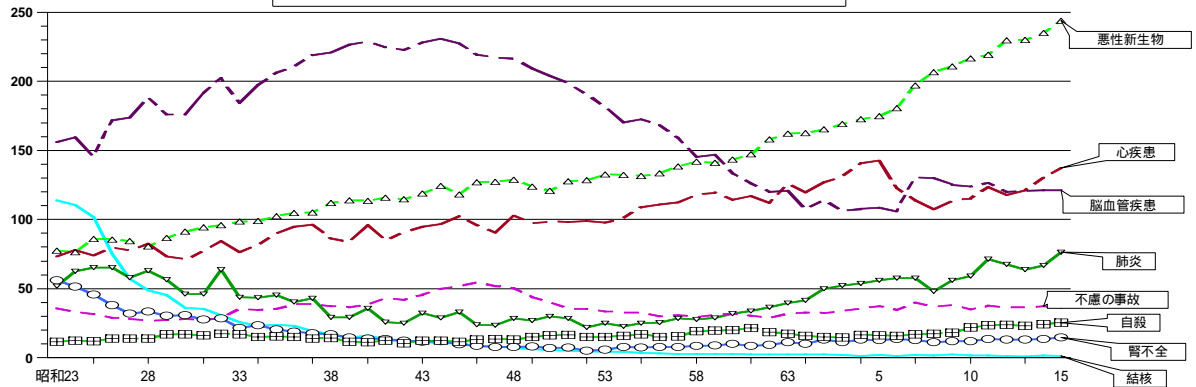
悪性新生物による死亡は昭和60年以降第1位となっている。全死亡者に占める割合は、それぞれ29.3%、16.5%、14.6%である。

図3 死因構成割合



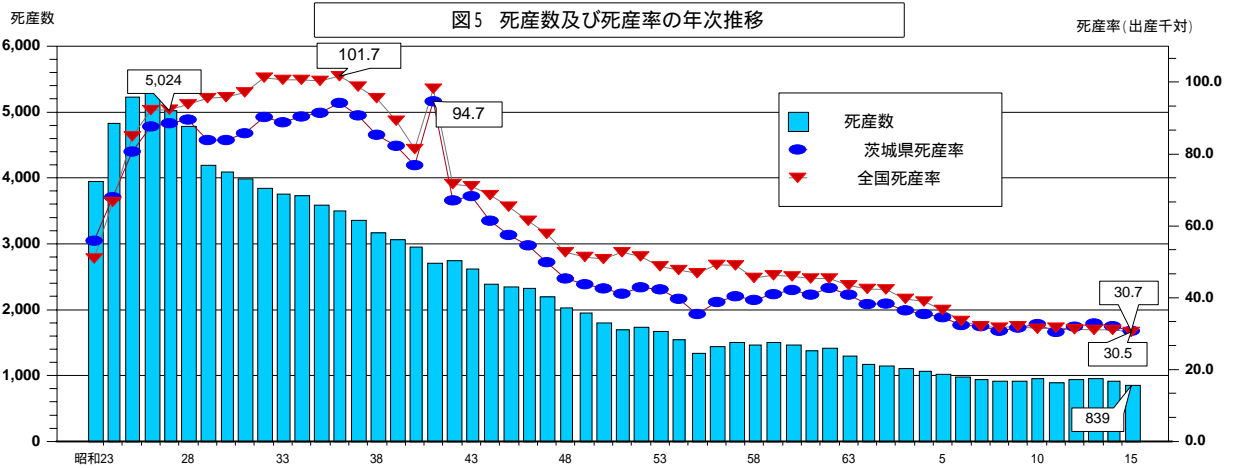
死亡率(人口10万対)

図4 選択死因別死亡率の年次推移



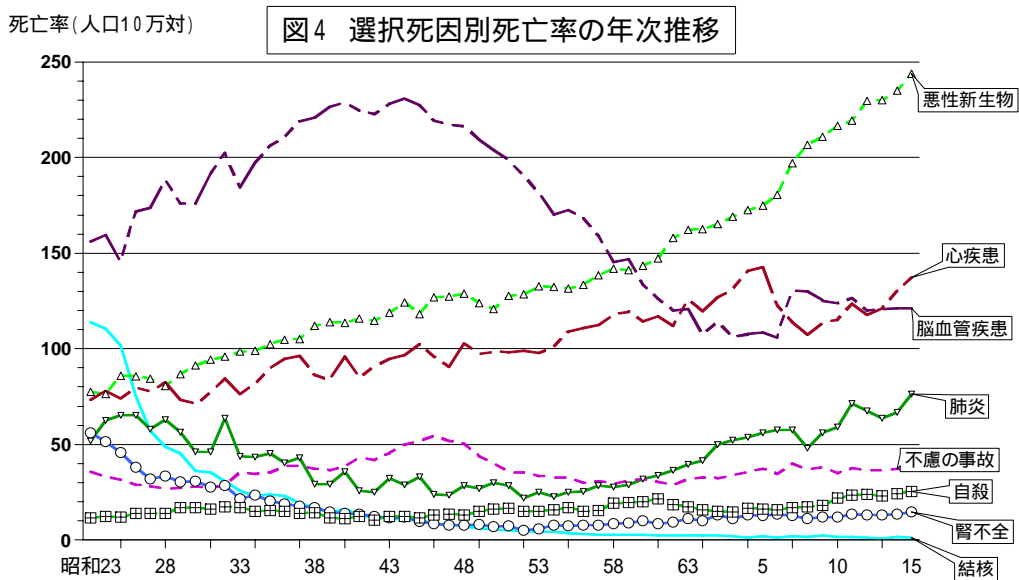
### 3 死産数は減少

死産数は839胎で、前年より69胎減少(自然20胎増,人工89胎減)し、死産率(出産(出生+死産)千対)は30.7で、前年を1.4ポイント下回った。



#### 4 婚姻件数は減少

婚姻件数は16,622組で、前年より624組減少し、婚姻率（人口千対）は5.6で、前年を0.2ポイント下回った。婚姻率では神栖町・千代田町が高く、水府村・美和村・金砂郷町が低い。



#### 5 離婚件数は減少

離婚件数は6,285組で、前年より249組減少し、離婚率（人口千対）は2.13で前年を0.08ポイント下回った。離婚率では、神栖町・美野里町が高く、美和村・御前山村・里美村が低い。

